



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1  
電話：03-3541-5151  
担当者の所属・氏名 臨床研修部 出口 晴教  
(代理)

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 臨床研修部 出口 晴教

### **【指導医】**

聖路加国際病院 小児外科 矢田 圭吾

# 当院でお生まれになった新生児を対象とした研究

## 1.研究の対象

- ①2011年1月1日から2019年12月31日までに当院にて人工授精で出生した新生児および両親
- ②2011年1月1日から2019年12月31日までに当院にて正常妊娠で出生した新生児および両親

## 2.研究の目的・方法

人工授精で出生した児は、正常妊娠で出生した児に比べて、停留精巣、移動性精巣、尿道下裂の児が多いと他の研究報告で言われています。

この研究は、男性不妊が原因の人工受精が、停留精巣、移動性精巣、尿道下裂の出生のリスクになるかを検証することを目的としております。それを証明することで、潜在的な精巣機能低下が児に遺伝している可能性を示唆することができると考えています。

潜在的な精巣機能低下が遺伝することを証明できれば、不妊治療中もしくは高齢出産前の夫婦に適切な情報提供が可能とるだけでなく、適切な手術介入時期の判断の一助となる可能性があるため、この研究を企画しました。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- 《情報》ID、性別、生年月日、BMI、術式、不妊治療の有無 等
- 《試料》特になし